



2025年9月5日

各位

会社名 株式会社 アピリッツ
 代表者名 代表取締役社長執行役員 CEO 和田 順児
 (コード番号：4174 東証スタンダード)
 問合せ先 取締役執行役員 CSO 中館 博貴
 (TEL 03-6684-5111)

2026年1月期第2四半期(中間期)及び通期業績予想の修正に関するお知らせ

2025年3月17日に「2025年1月期決算短信〔日本基準〕(連結)」にて公表いたしました2026年1月期第2四半期(中間期)及び通期の連結・個別の業績予想について、下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 連結業績予想数値の修正

(1) 2026年1月期第2四半期(中間期)連結業績予想数値の修正(2025年2月1日～2025年7月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 中間純利益	1株当たり 中間純利益
前回発表予想(A) (2025年3月17日)	百万円 5,174	百万円 215	百万円 210	百万円 132	円銭 33.09
今回修正予想(B)	5,156	△18	△25	△35	△8.82
増減額(B-A)	△17	△234	△235	△168	-
増減率(%)	△0.3	-	-	-	-
(ご参考)前期実績 (2025年1月期第2四半期 (中間期))	4,221	13	10	△16	△3.92

(2) 2026年1月期通期 連結業績予想数値の修正(2025年2月1日～2026年1月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A) (2025年3月17日)	百万円 10,464	百万円 610	百万円 600	百万円 372	円銭 92.95
今回修正予想(B)	10,551	103 ～172	90 ～160	51 ～97	12.82 ～24.10
増減額(B-A)	86	△507 ～△438	△509 ～△439	△320 ～△275	-
増減率(%)	0.8	△83.1 ～△71.8	△84.9 ～△73.3	△86.1 ～△73.9	-
(ご参考)前期実績 (2025年1月期通期)	9,008	185	185	45	11.20

2. 個別業績予想数値の修正

(1) 2026年1月期 第2四半期(中間期) 個別業績予想数値の修正(2025年2月1日~2025年7月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	中間純利益	1株当たり 中間純利益
前回発表予想(A) (2025年3月17日)	百万円 4,014	百万円 208	百万円 212	百万円 110	円銭 27.57
今回修正予想(B)	4,036	△86	△81	△126	△31.30
増減額(B-A)	21	△295	△294	△236	-
増減率(%)	0.5	-	-	-	-
(ご参考)前期実績 (2025年1月期第2四半期 (中間期))	3,360	0	6	4	1.09

(2) 2026年1月期 通期 個別業績予想数値の修正(2025年2月1日~2026年1月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A) (2025年3月17日)	百万円 8,071	百万円 547	百万円 555	百万円 334	円銭 83.52
今回修正予想(B)	6,170	△223	△215	△213	△53.01
増減額(B-A)	△1,900	△771	△770	△548	-
増減率(%)	△23.5	-	-	-	-
(ご参考)前期実績 (2025年1月期通期)	7,147	201	212	115	28.21

3. 業績予想の修正理由

【第2四半期(中間期) 個別・連結業績予想】

第2四半期(中間期)の個別及び連結業績予想につきましては、前回発表の業績予想と比較し、売上高はすべてのセグメントにて概ね計画通りに推移しました。

しかしながら、Webソリューションセグメントにおいて、第1四半期にて発生した不採算案件の収束への対応に要した外注費が想定を上回ったため、営業利益以下の各段階利益において業績予想の達成には至らず、第2四半期(中間期)個別・連結業績予想の修正を行うこととなりました。

なお、不採算案件が発生する原因・問題点は、案件規模と難易度に対して、ミドルマネジメント層が不足していることと認識しております。現在はミドルマネジメント層の採用を強化し、体制強化を進めております。今後は、段階的に不採算案件の数が軽減される見込みです。

【通期個別・連結業績予想】

通期の個別及び連結業績予想につきましては、前回発表の業績予想と比較し、売上高はグループ会社を含め概ね計画通りに進捗しております。

しかしながら、第2四半期(中間期)の個別及び連結業績予想の修正の影響に加え、当社の推しカルチャー&ゲーム事業が2025年8月1日付の新設分割により、新設子会社である株式会社アピリッツ・ファンカルチャーパートナーへ承継されたことで、当社の個別業績から除外されたため、通期個別・連結業績予想の修正を行うこととなりました。

また、第1四半期にWebソリューションセグメントにおいて発生した不採算案件は下期にかけて段階的に収束する見込みであり、この影響も通期個別・連結業績予想の修正に織り込んでおります。

なお、当社グループの推しカルチャー&ゲームセグメントでは、2025年8月より、利益率の向上を目指すため、アプリ外課金（アプリストア外での決済導線の活用によりストア手数料を抑制する取組）の導入を推進しております。各ゲームタイトルへの導入時期・浸透度の見通しに幅があり、利益の予測が困難であることから、通期連結業績予想における営業利益以下はレンジでの開示としております。

※本資料に記載しております業績予想等につきましては、現時点で得られました情報に基づき算定しております。実際の業績は今後様々な要因により本資料の見通しとは異なる結果となる場合があります。今後、事業環境を注視し、業績予想に修正が必要と判断した際には、速やかに公表いたします。

以上